

多摩平の森地区A街区 公共公益施設整備計画検討の背景

多摩平地区のまちづくりの経緯

昭和33年に整備された多摩平団地については、建替事業の着手に先立ち住民・UR・市による三者勉強会を立ち上げ、話し合いにより進められてきました。

団地の建替えにより、多摩平の森として1,528戸の緑豊かで良好な景観の住宅に再生し、 建替計画の余剰地の民間事業者による土地利用も順次進められているところです。

平成20年に建替事業が完了した後も、緑の継承や商業施設の誘導など、多摩平を中心とした地域の新たなまちづくりをテーマに三者勉強会は継続的な話し合いによるまちづくりが進められており、また、多摩平自治会では自主防災訓練や、地域の見守り活動、実践女子大との健康増進活動など様々な取り組みが進められております。

しかしながら、その一方では多摩平の森地区でも他の団地と同様に高齢化が顕著となっており、高齢者だけの世帯、独居の高齢者も非常に多くなり、住民活動の継続やコミュニティの持続等と合わせ、安心して住まい続けられる環境の整備が新たな問題となってきております。

"持続可能なまち、への再編に向けて

多摩平地区については、建替え事業に着手した当初から「緑の継承」や「シニアライフの支援」「子育て環境の整備」などのまちづくりのテーマを定め、地域に必要となる機能配置を検討しながら進められてきました。

民間への譲渡後も、この理念に基づくまちづくりを継承するため、平成20年12月に貴機構と「多摩平団地の整備敷地における総合的なまちづくりに関する基本協定」を結び、相互の協力の下に今後の土地利用と合わせ必要な公共公益機能の確保を行う事を確認し、団地再生のまちづくりを進めております。

また、平成22年には日野市まちづくり条例により定める "重点的にまちづくりを進める地区、として「多摩平の森重点地区まちづくり計画」を策定しました。

この計画の中では計画区域内の開発・土地利用において、歩いて暮らせるまちづくり、商業街区などへの都市機能の集約化などを図り、合わせてA街区においては近接して立地する市立病院や既存の地区内、周辺の公共施設、医療や高齢者や子どもの福祉施設等の整備誘導と機能連携が位置づけられております。

本計画の位置づけに基づき、多摩平の森地区を中心に、市民、UR、民間事業者、日野市等の多様な主体の相互の協力の下、現在の都市が直面する様々な課題に対応できる、団地再生のモデルとなるよう、医療・福祉を中心とした機能の連携、地域の住民の取り組みの誘導を検討し、この度構想としてまとめました。

A街区 公共公益機能整備に関する基本コンセプト

検討する公共機能の前提となる協定、計画等の位置づけ

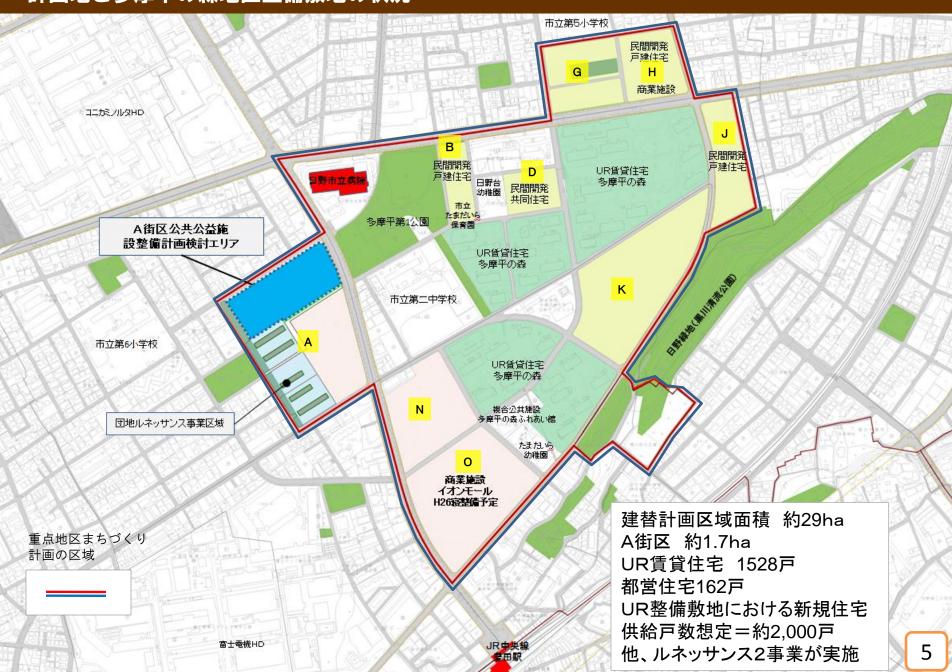
- ・「多摩平団地建替事業の整備敷地における総合的なまちづくりに関する基本協定」(H20年12月)
- ■「多摩平の森重点地区まちづくり計画」(H22年11月)
- 上記の位置づけに基づき、多摩平の森整備敷地A街区において民間事業者による公共公益機能 整備を誘導する。
- ・高齢福祉施設(特別養護老人ホーム)、保育施設(保育園)など基本協定上位置づけのある施設は 積極的に誘致する。

Aブロック基本コンセプト 持続できる地域、世代交流の醸成

- 1. まちの活性化 様々な世代が暮らす賑わいのある多摩平の再生
- 2. 3世代の地域の絆を深める安全・安心なまちづくりの仕組み、仕掛け
- 3. 持続可能な地域の醸成 自助・共助・互助・公助 の役割分担
- 4. 医療・介護機能の充実と連携 市民へのシームレスなサービス提供の実現

A 街区 介護 療 住宅機能 特別養護老人ホーム 回復期リハビリ病棟 -体的な 訪問介護ステーション 訪問看護ステーション 高齢者専用賃貸住宅 市立病院 療養病床(短期・長期) デイケア・デイザービス 子育て世代向け賃貸住宅 クリニック (一次医療) ショートステイ 看護•介護系大学学生寮 介護予防 研修制度 · 人材確保 研修制度 · 人材確保 研修制度•人材確保 医療連携 配食サービス 利用 誰もが気軽に 利用 滞在できる空間 人材の育成 利用 地域•世代交流 地域医療 ・持続できる地域 看護•介護系大学 コミュニケーションカフェ •介護 •世代交流の醸成 交流・イベント広場、情報スペース 安全安心なまちづくり 健康増進施設 ジョブセンター ヘルパー講座 事業展開 地域へのサービス提供 直接的な 人材の活用・育成 地域活動 サービスの提供 地 生涯学習 **UR** 子育て支援 地域交流 地域活動、まちづくり活動拠点 多摩平の森 域 地域の活性化 保育機能 学びのスペース 高齢化率47% A街区施設の利用 (講座室など) 病児・病後児のケア 高齢者・子どもの見守り 遊びと交流 親子教室 日常生活に必要な サービスの提供 活用 交流· 参画 活用 駅前における事業展開 駅前 URルネッサンス 商業拠点 高専賃 その他 及び周辺 公共施設 菜園付住宅 4 シェアハウス

計画地と多摩平の森地区整備敷地の状況



Aブロック公共施設の整備イメージ



これまでの多摩平のまちづくりの経過(1)

平成 8年 (1996年)	・地区計画の決定・用途地域の変更		
	• 3者勉強会開始		
平成 9年 (1997年)	・第1期建替事業着手	3者勉強会	第10回
平成12年 (2000年)	• 建替工事着手		
	・豊田駅北口周辺まちづくり懇談会設置		
平成14年(2002年)	・第1期戻り入居完了		
	・ユリの木集会所完成		
	・市立病院の建替(平成14年6月)		
	・第2期建替事業着手 - 第2期建替事業者手	3 者勉強会	第50回
平成15年(2003年)	・多摩平の森ふれあい館完成		
平成16年(2004年)	・公団の独立行政法人化		
→ 15	・第2期戻り入居完了		
平成17年(2005年)	第3期(LMブロック)建替事業着手		
	・豊田駅周辺まちづくり協議会設置		
五子1 0 左 (000c左)	・市へ整備敷地について民間譲渡申し入れ		
平成18年(2006年)	・日野市まちづくり条例制定		
亚宁10年(2007年)	・都市再開発方針(2項地区)の決定	0 土地 44 74 人	签100回
	・第3期戻り入居完了	3 者勉強会	弗100凹
平成20年(2008年)	・多摩平団地の整備敷地における総合的な まちづくりに関する基本協定締結		
平成21年(2009年)	・用途地域・地区計画の変更		
十八人 1 十 (2009年)	・多摩平の森地区重点地区まちづくり		
	協議会設置		

平成22年(2010年)

・多摩平の森重点地区まちづくり計画の策定

平成23年(2011年)

- ルネッサンス2事業開始
- ・ルネッサンス事業住宅入居
- ・新たまだいら保育園園舎完成
- 商業施設事業者の決定(イオンモール)
- A街区公共公益施設等整備検討委員会 設置

平成24年(2012年) · A街区公共公益施設整備計画策定

3者勉強会118回